

福建省および主要都市の経済概況(2019年)

更新日 2020年7月



【地理・歴史】武夷山などの山脈に囲まれ、陸地面積の80%以上は山地・丘陵。海岸線は3,752キロで全国2位と海洋資源は豊富。5万t以上のバースを建築可能な港が7カ所。台湾とは新竹港まで68海里(約126キロ)と大陸側で最も近接、台湾住民の約8割は福建出身者の子孫とされる。福建出身の華僑・華人は1,000万人を超え、176の国・地域に広がる。

【経済・産業】台湾の国民党との軍事的緊張などで経済発展は立ち遅れ。1980年代の改革開放政策の開始や台湾との緊張緩和により、廈門市が経済特別区に指定されるなど発展が加速。主に福州市、廈門市を中心に発展が進む。電器製品、板ガラス、エチレンなどの生産が盛ん。台湾との結びつきが強く、輸入の約13%、対内直接投資の約4分の1を占める。

【その他】2015年4月に中国(福建)自由貿易試験区が設置。福州市、廈門市、平潭島の3つのエリアから成る。平潭島は福州市南東に位置し、強風・寒冷といった過酷な自然環境などから、省内でも最も貧しいエリアの一つだった。2009年に「平潭総合実験区」が設立、インフラ投資が進み、台湾企業向けのインキュベーション施設が整うなど大型投資が相次ぐ。習近平総書記は福建勤務時代、平潭島に17年間で21回訪問したとされる。

【日系企業】福州市、廈門市を中心に自動車、電子・電機、機械、化学品、食品など。

	単位	福建省	対前年増減	全国に占める福建省の割合	福州市	対前年増減	福建省に占める福州市の割合	廈門市	対前年増減	福建省に占める廈門市の割合
面積	万km ²	12.4	—	1.3%	1.2	—	9.9%	0.2	—	1.4%
常住人口	万人	3,973	0.8%	2.8%	780	0.8%	19.6%	429	4.4%	10.8%
GRP	億元	42,395	7.6%	4.3%	9,392	7.9%	22.2%	5,995	7.9%	14.1%
うち第1次産業	億元	2,596	3.5%	3.7%	526	3.8%	20.3%	26	0.7%	1.0%
うち第2次産業	億元	20,582	8.3%	5.3%	3,831	7.8%	18.6%	2,494	9.7%	12.1%
うち第3次産業	億元	19,217	7.3%	3.6%	5,035	8.3%	26.2%	3,475	6.6%	18.1%
固定資産投資	億元	—	6.0%	—	—	9.0%	—	—	9.0%	—
社会消費品小売総額	億元	15,750	10.0%	3.8%	4,199	9.6%	26.7%	1,732	12.2%	11.0%
都市住民一人当たり可処分所得※2	元/年	35,616	9.1%	—	38,719	9.5%	—	55,870	9.7%	—
貿易額※2	億元	13,307	7.8%	4.2%	2,526	3.2%	19.0%	6,413	6.9%	48.2%
うち輸出※2	億元	8,278	8.7%	4.8%	724	▲8.9%	8.7%	3,529	5.7%	42.6%
うち輸入※2	億元	5,029	6.3%	3.5%	1,802	9.0%	35.8%	2,884	8.3%	57.4%
対内直接投資額※2(実行ベース)	億元	315	3.3%	3.3%	65※3	16.9%	20.5%	134	25%	42.5%

(出所)中国統計局、福建省統計局、福州市統計局、廈門市統計局 (※1各数値は小数点以下、%は小数点第二位以下を四捨五入している。※2GRP伸び率は実質。※3福州市統計局の発表の基に、ジェトロが算出。)